

カリキュラムをリニューアルしました！

2025年度より、医療・福祉・介護現場での課題解決を担う専門職の養成に主眼をおいた新カリキュラムをスタートさせました。
実践力を高めるために、幅広い専門知識とマネジメント能力の獲得をめざします。

※開講科目および科目名称は、変更になる場合があります。

()内:単位数

研究科専門科目

医療・福祉実践科目

ケースメソッド、スーパービジョンをコアとし、実践力や指導力の向上を通じてマネジメント力の獲得をめざします。

ケースメソッド基礎 (1)	ケースメソッド演習 (2)
スーパービジョン論 (2)	プログラム評価論 (2)
多職種連携概論 (2)	ケアマネジメント論 (2)
人材マネジメント論 (2)	

医療・福祉専門科目

医療・福祉分野における高度専門職業人として必要となる知識を修得します。

福祉と疾病 (1)	福祉と介護 (1)
リハビリテーション特論Ⅰ (1)	リハビリテーション特論Ⅱ (1)
ソーシャルワーク論 (2)	地域福祉論 (2)
医療・福祉マネジメント (2)	医療・福祉政策と経済 (2)
家族と社会保障 (2)	暮らしと医療福祉制度 (2)
多文化共生とディスアビリティ (2)	人権とダイバーシティ (1)

演習科目

多職種の院生間でディスカッション等を通じ視野を広げ、実践的思考力や問題解決能力を養成します。

専門演習Ⅰ (4) ※必修	専門演習Ⅱ (4)
---------------	-----------

研究科目

講義や演習で得た知識や知見を活かしながら、修士論文またはリサーチペーパーをまとめます。

研究基礎 (2) ※必修	特別研究 (4) ※必修
--------------	--------------



()内:単位数

大学院共通科目

本学大学院6研究科の伝統と知見を活用した研究方法、多職種連携に関する科目や、外部機関との連携科目を設けています。

私の研究テーマと研究方法 (2)	多職種連携実践Ⅰ (2)	先端老年社会科学講座 (1) ※国立長寿医療研究センター連携
研究方法概論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ (各1) ※オンデマンド	多職種連携実践Ⅱ (2) ※単位認定申請科目	統計解析講座 (1) ※国立長寿医療研究センター連携

※以上に加えて、他専攻履修として、社会福祉学研究科社会福祉学専攻(通信教育)の福祉経営に関する科目等が履修可能となる予定です。

履修パターン

1年次演習以外の科目は、研究目標や都合に合わせて自由に履修登録でき、履修登録を工夫することで、通学負担軽減も可能です。

【1年次】

■パターン①：平日夜間の講義を中心に履修

月曜～木曜	金 曜	土曜・集中講義
月曜～木曜の中で、前期・後期それぞれ1日(1科目)～2日(2科目)程度履修	演習科目〈必修〉	2科目程度履修

■パターン②：土曜の講義や集中講義を中心に履修

月曜～木曜	金 曜	土曜・集中講義
月曜～木曜の中で、前期・後期それぞれ1日(1科目)程度履修	演習科目〈必修〉	3科目程度履修

【2年次】

■パターン①：平日夜間の講義を中心に履修

月曜～木曜	金 曜
月曜～木曜の中で、前期・後期それぞれ1日(1科目)程度履修	演習科目

■パターン②：土曜の講義や集中講義を中心に履修

金 曜	土曜・集中講義
演習科目	2科目程度履修

※集中講義は1科目あたり3日間～4日間(1日あたり4時限～5時限)で開講されます。

授業時間帯

■ 平日(月～金)

6時限	18:25～19:55
7時限	20:05～21:35

■ 土・日・祝

1時限	09:20～10:50
2時限	11:00～12:30
3時限	13:25～14:55
4時限	15:05～16:35
5時限	16:45～18:15

開講形態

■ハイブリッド形式(対面とオンライン[Zoom]の併用(選択可))

■対面形式 ■オンデマンド形式

修了単位数

- 修士論文選択者：30単位以上
- リサーチペーパー選択者：34単位以上

仕事と両立しやすい授業形態

平日授業は18時25分開始で、仕事とも両立しやすい設定です。一部科目はオンライン併用で開講しており、通学負担の軽減も可能です。
また、土曜などに開講する集中講義も多く、時間を有効活用することができます。

